

令和7年度 沖縄地方ダム管理フォローアップ委員会
議事要旨

1. 日 時：令和8年2月2日（月）14：00～16：30
2. 場 所：沖縄総合事務局2階災害対策室
3. 出席者：神谷委員長、大城委員、金城 栄喜委員、金城 修委員、立原委員、福田委員、古里委員
4. 議 事：「安波ダム、普久川ダム、辺野喜ダム 定期報告書（案）」
5. 主な意見

「安波ダム、普久川ダム、辺野喜ダム定期報告書（案）」について

○洪水調節

- ・令和元年東日本台風に伴う豪雨や、令和2年7月豪雨のような、全国各地で発生している異常豪雨の発生が沖縄でも懸念され、実際に令和6年11月の豪雨では比地川で浸水被害が発生している。異常洪水に対する備えが重要となる。
- ・地域住民に対して、ダムが洪水被害軽減に大きな役割を果たしていることを引き続き広報し、理解を得て頂くことが重要である。

○利水補給

- ・気候変動に伴い短時間強雨や大雨の強度・頻度の増加が予測されている一方で、無降水日数の増加も予測されており、他域と水融通が困難な沖縄においては異常渇水への対応を関係者間で今後考えていく必要がある。

○堆砂

- ・堆砂量は全体的に計画堆砂量以下で推移しているが、大雨による斜面崩落やこれに伴う地形の変化など、貯水池内の堆砂に影響が生じる事象は常に考えられることから、引き続き堆砂状況について監視していく必要がある。

○水質

- ・暖冬の年には冬季の鉛直混合が不十分となる傾向が見られた。今後も温暖化によりこれらの事象が発生しやすくなる可能性があるため、引き続き注視して頂きたい。

○生物

- ・ 特定外来生物等の外来種については、侵入防止のための啓発や効果的な拡散防止策について、ダム管理者として可能な対策を実施するとともに、関係機関との情報共有に努めていく必要がある。

○水源地域動態

- ・ 水源地域ビジョンメニューやダムツーリズムの取り組みについて、引き続きフォローアップを行っていく必要がある。